

（第1面）

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 5 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県北上市北工業団地7番1号

氏 名 東綱スチールコード株式会社

代表取締役社長 玉田 聡

電話番号 0197-66-2101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

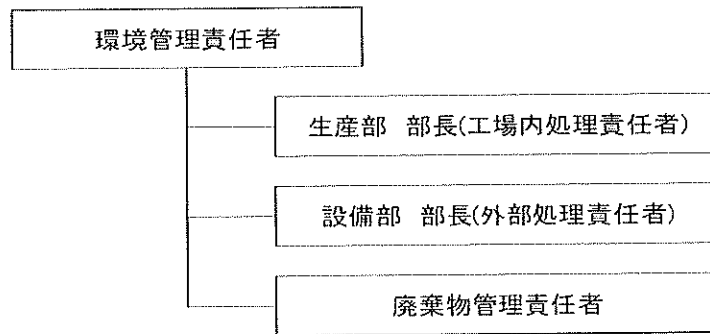
事業場の名称	東綱スチールコード株式会社
事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地7番1号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業[金属製品製造業]
② 事業の規模	製品出荷額 76億円
③ 従業員数	280名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 → 委託処分（リサイクル、一部焼却減容化 埋立処分） 廃アルカリ → 委託処分（焼却減容化 残渣なし） 廃プラスチック → 委託処分（リサイクル） ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず → 委託処分（リサイクル、一部破碎後埋立処分） 木くず → 委託処分（リサイクル） 金属くず → 委託処分（リサイクル）



（日本工業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 一部分別により再利用している。 廃プラスチック 分別により再利用している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック 今後も部分的に分別により排出量を抑制する。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用する予定はない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元

請 完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応

じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する

ま での一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入するこ

と。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら  
中 間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中  
間 間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託  
量 を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施  
行 令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回  
収 施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）で  
あ る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者  
へ の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

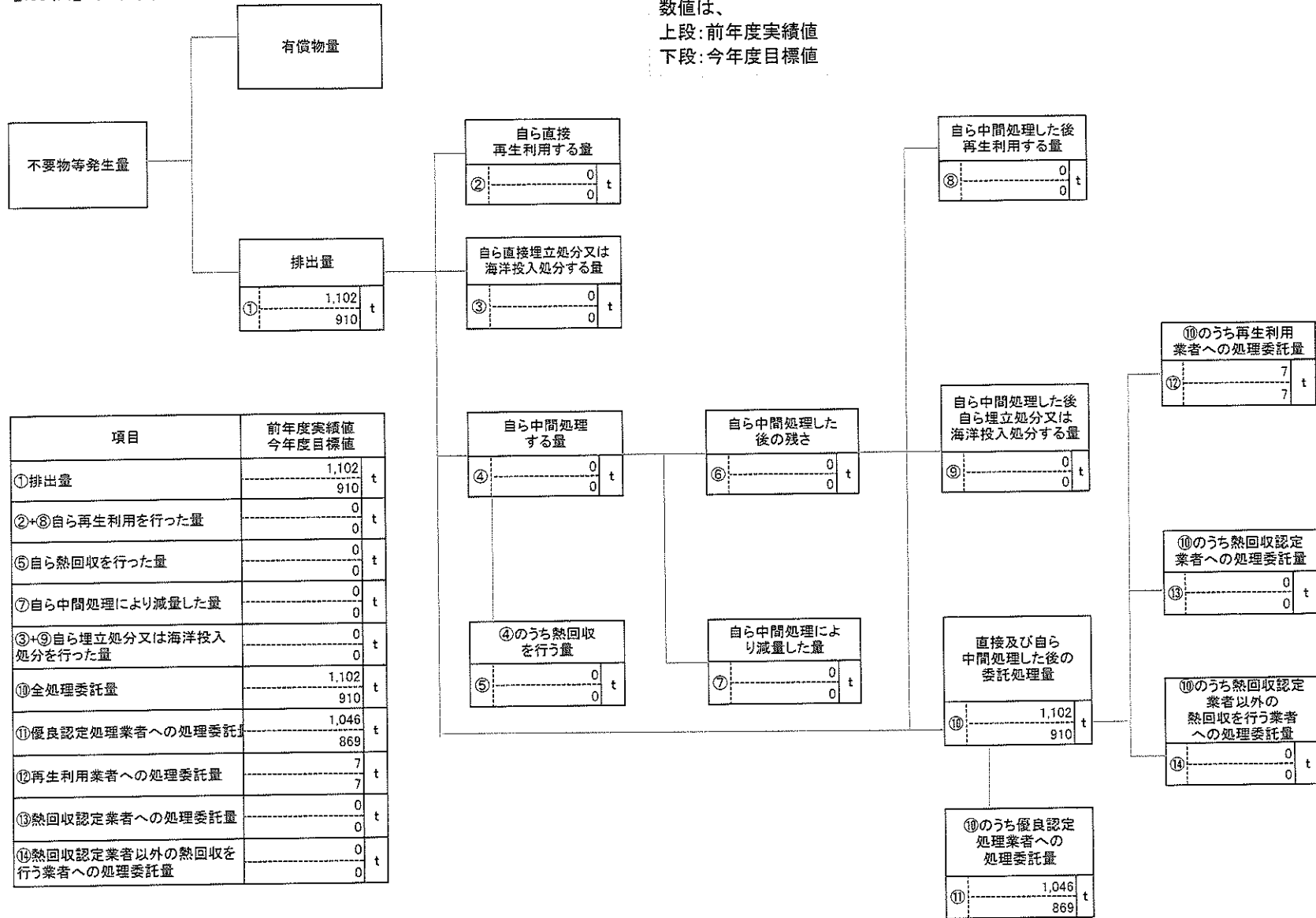
6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙の  
と おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物  
の 種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記  
入 すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき  
は、「一」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 全体)

【別紙】今年度の計画

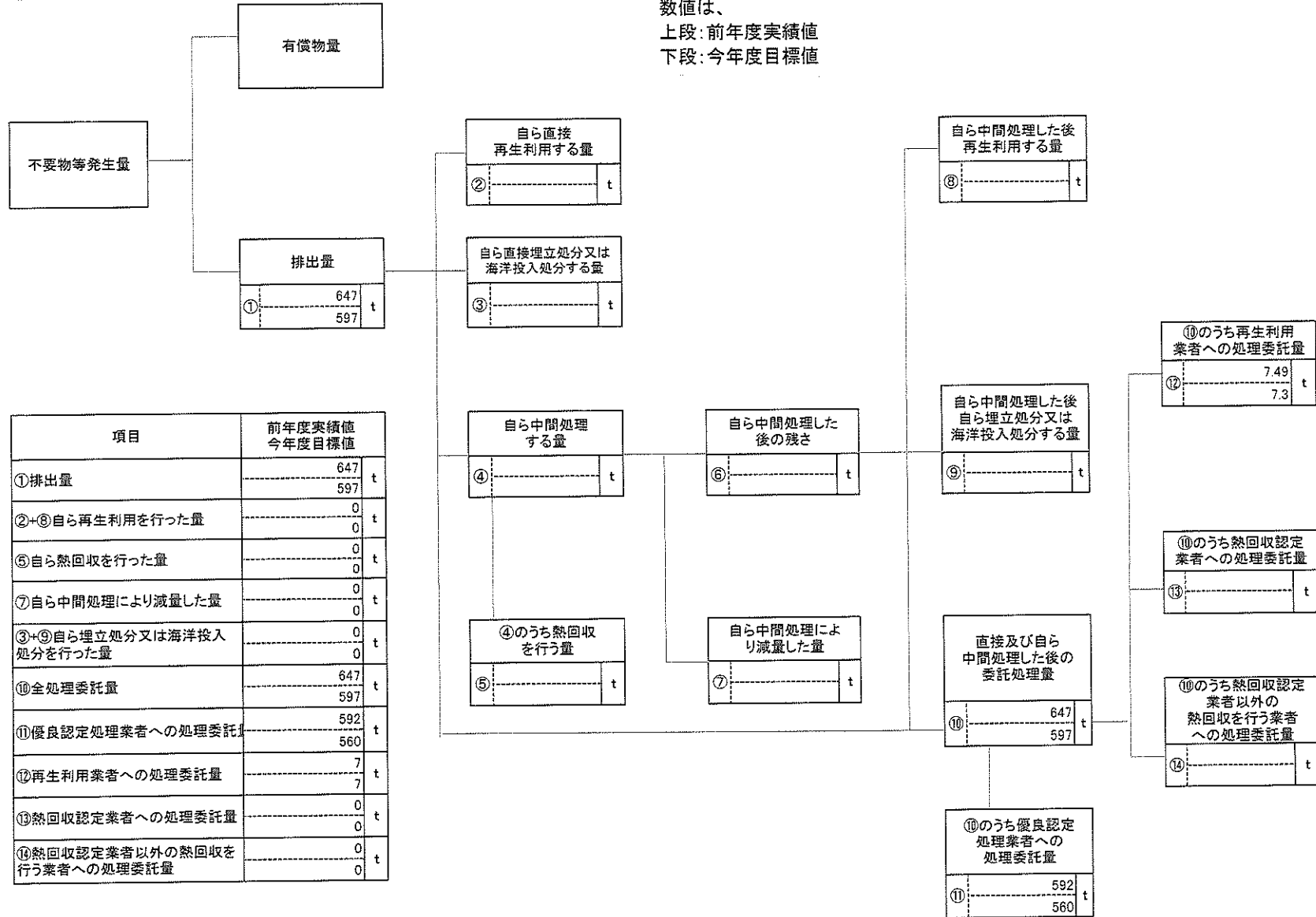
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 汚泥)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

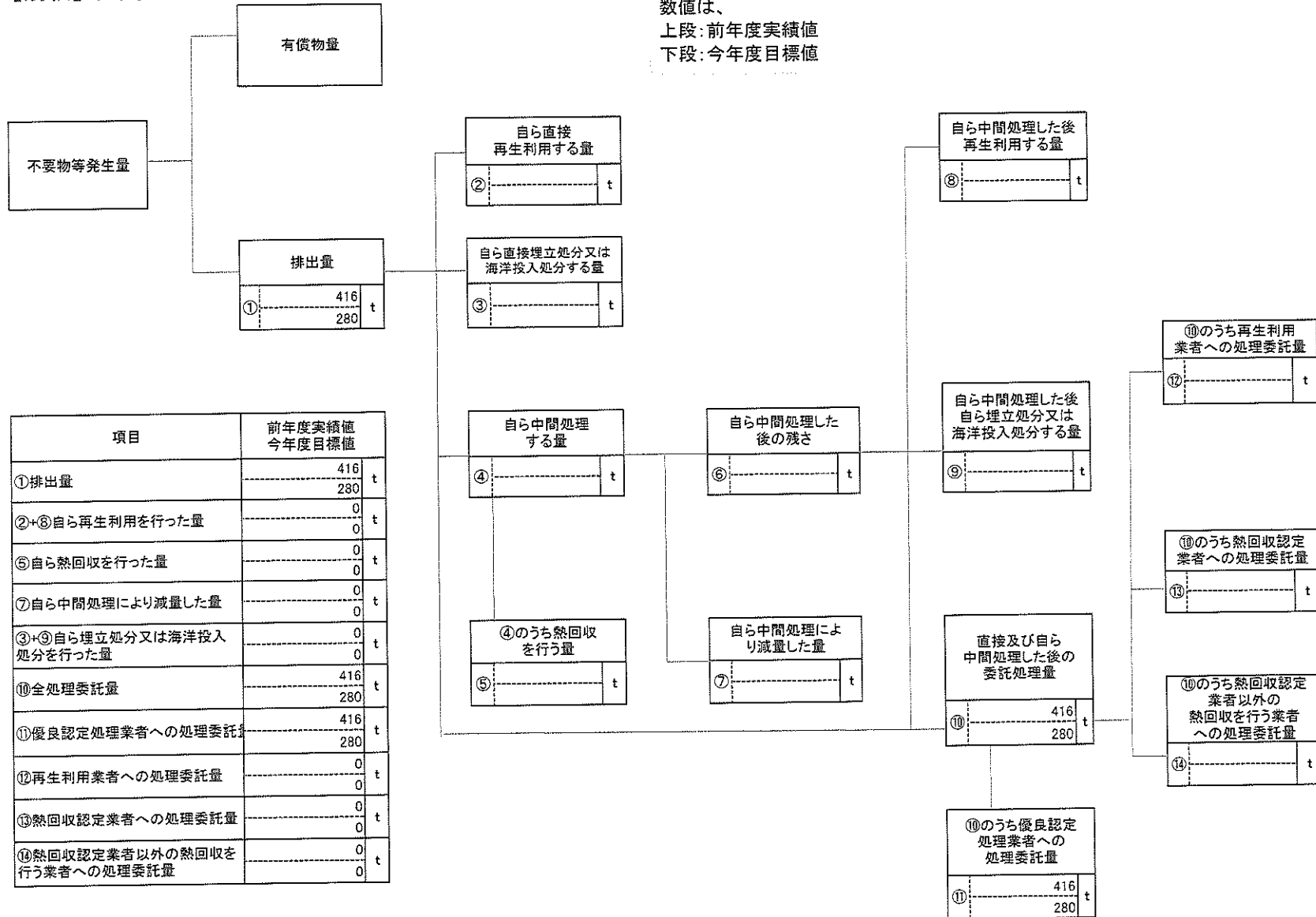




(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ )

【別紙】今年度の計画

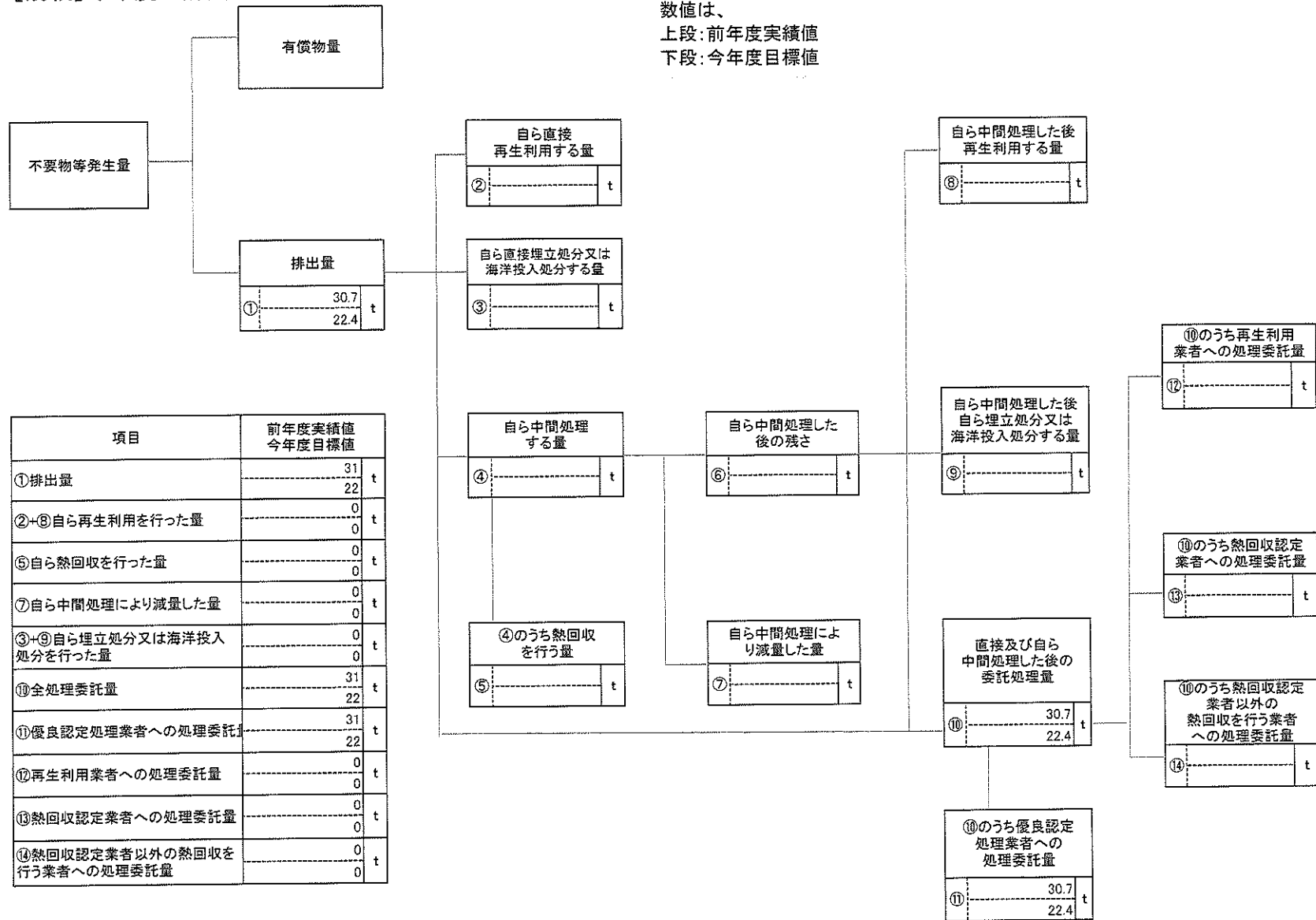
数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

不要物等発生量	有償物量	排出量	自ら直接再生利用する量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	自ら中間処理した後再生利用する量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		①	②	③	⑧	⑨	⑫	⑬	⑭
		1.71 4.18 t	t	t	t	t	t	t	t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1.71	4.18 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	0.00 t
⑩全処理委託量	1.71	4.18 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.45	0.18 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00 t

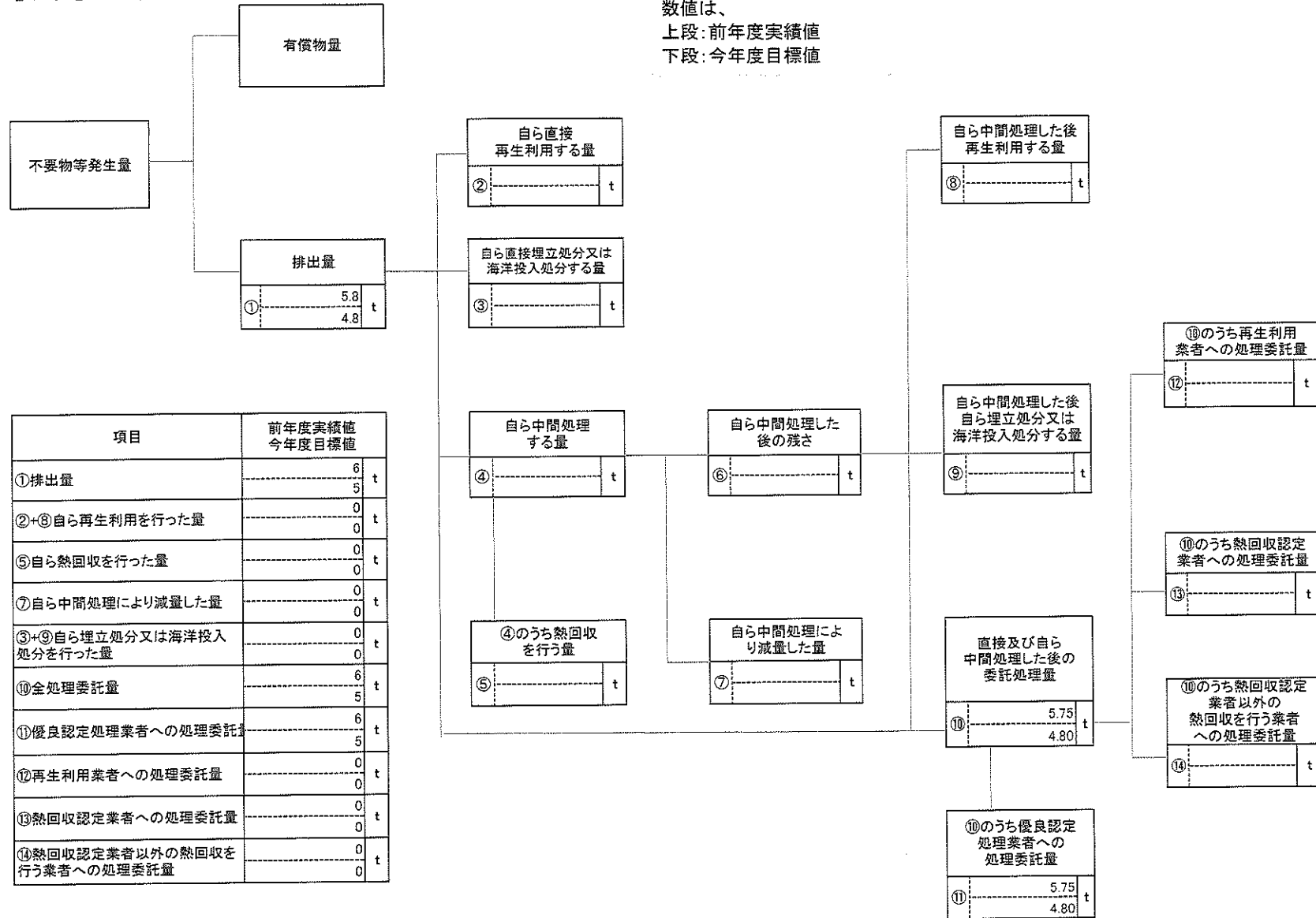
  

自ら中間処理する量	自ら中間処理した後の残さ	④のうち熱回収を行う量	自ら中間処理により減量した量	直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
④	⑥	⑤	⑦	⑩	⑪
t	t	t	t	1.71 4.18 t	0.45 0.18 t

(産業廃棄物の種類: 木くず)

【別紙】今年度の計画

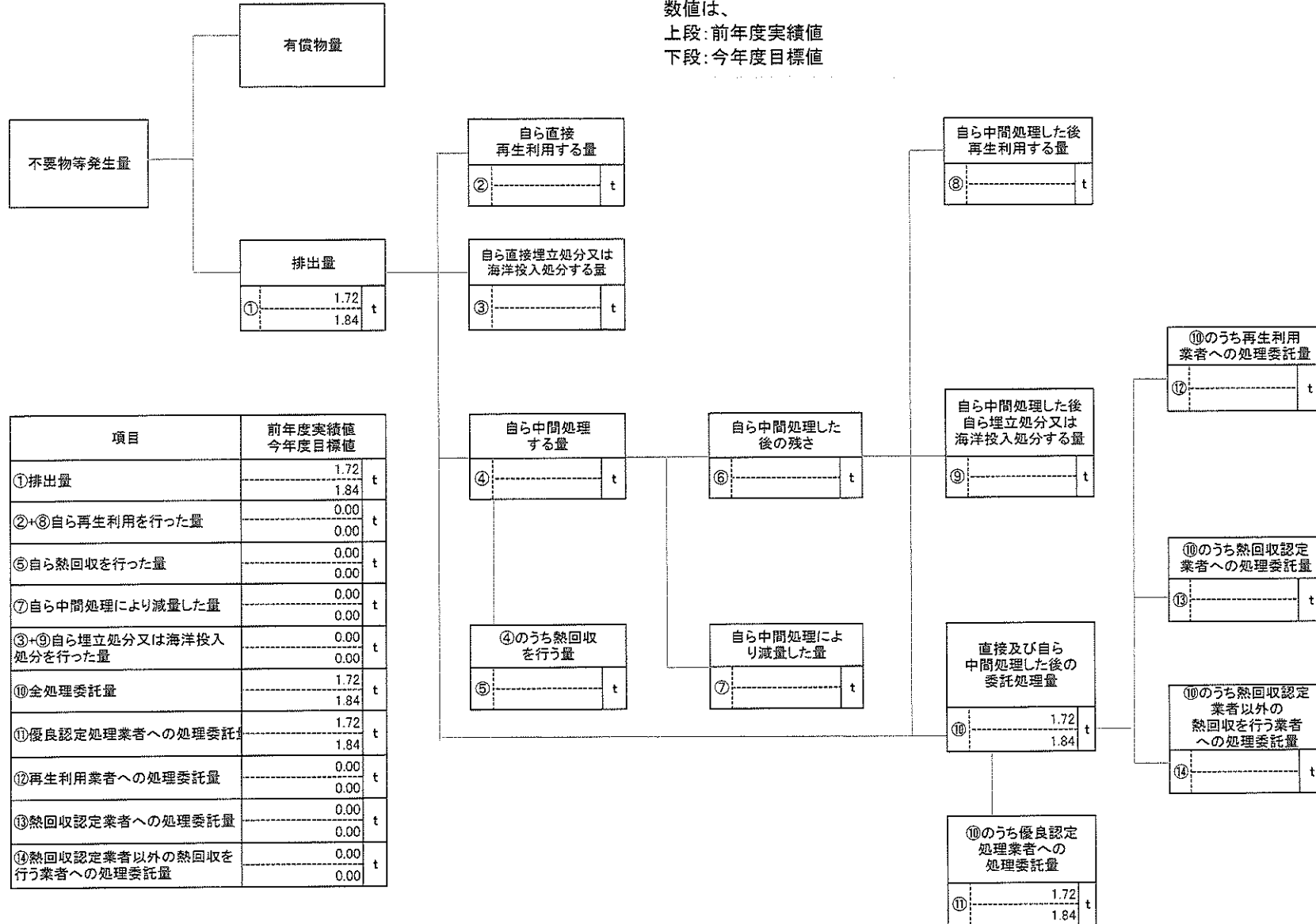
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## ①現状

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	排出量(t)	これまでに実施した取組
汚泥	D潤滑液汚泥	94	沈殿分離により減量化
	炉床カス(シリコンサント)	47	分別転用により減量化
	スラッジ	346	操業管理適正化による排出抑制
	シリカゲル	24	リユース促進による減量化
	アルカリ中間ボンド汚泥	128	—
	有機汚泥	5	—
	空調汚泥	3	—
	小計	647	
廃アルカリ	D潤滑液	416	操業管理適正化による排出抑制
	小計	416	
廃プラスチック類	廃プラスチック	9	—
	廃プラスチック(倉庫)	18	リユース促進による減量化
	カルブ	4	—
	小計	31	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.42	—
	ガラス(蛍光管)	0.03	LED化
	レンガくず、陶磁器	1.26	—
	石膏ボード	0.00	—
	小計	1.71	
木くず	木屑	6	—
	小計	6	
金属くず	金属くず	1.66	—
	パソコン		
	乾電池	0.06	—
	小計	1.72	
	合計	1,102	

## ②計画

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	排出量(t)	今後実施する予定の取組
汚泥	D潤滑液汚泥	70	沈殿分離により減量化
	炉床カス(シリコンサント)	30	分別転用により減量化
	スラッジ	265	含水率低減による排出抑制
	シリカゲル	15	リユース促進による減量化
	アルカリ中間ボンド汚泥	210	操業管理適正化による排出抑制
	有機汚泥	5	—
	空調汚泥	3	—
	小計	597	
廃アルカリ	D潤滑液	280	操業管理適正化による排出抑制
	小計	280	
廃プラスチック類	廃プラスチック	7	—
	廃プラスチック(倉庫)	12	リユース促進による減量化
	カルブ	3	—
	小計	22	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.16	—
	ガラス(蛍光管)	0.02	LED化
	レンガくず、陶磁器	4.00	—
	石膏ボード	0.00	—
	小計	4.18	
木くず	木屑	5	—
	小計	5	
金属くず	金属くず	1.50	—
	パソコン	0.30	—
	乾電池	0.04	—
	小計	1.84	
	合計	910	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	全処理委託量(t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	D潤滑液汚泥	94	94			
	炉床カス(ジルコンサント)	47				
	スラッジ	346	346			
	シリカゲル	24	24			
	アルカリ中間ポンド汚泥	128	128			
	有機汚泥	5		5		
	空調汚泥	3		3		
	小計	647	592	7	0	0
廃アルカリ	D潤滑液	416	416			
	小計	416	416	0	0	0
廃プラスチック類	廃プラスチック	9	9			
	廃プラスチック(倉庫)	18	18			
	カルプ	4	4			
	小計	31	31	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.42	0.42			
	ガラス(蛍光管)	0.03	0.03			
	レンガくず、陶磁器	1.26				
	石膏ボード	0.00				
	小計	1.71	0.45	0	0	0
木くず	木屑	6	6			
	小計	6	6	0	0	0
金属くず	金属くず	1.66	1.66			
	パソコン					
	乾電池	0.06	0.06			
	小計	1.72	1.72	0	0	0
	合計	1,102	1,046	7	0	0

## ②計画

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	排出量(t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	D潤滑液汚泥	70	70			
	炉床カス(ジルコンサント)	30				
	スラッジ	265	265			
	シリカゲル	15	15			
	アルカリ中間ポンド汚泥	210	210			
	有機汚泥	5		5		
	空調汚泥	3		3		
	小計	597	560	7	0	0
廃アルカリ	D潤滑液	280	280			
	小計	280	280	0	0	0
廃プラスチック類	廃プラスチック	7	7			
	廃プラスチック(倉庫)	12	12			
	カルプ	3	3			
	小計	22	22	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.16	0.16			
	ガラス(蛍光管)	0.02	0.02			
	レンガくず、陶磁器	4				
	石膏ボード	0				
	小計	4.18	0.18	0	0	0
木くず	木屑	5	5			
	小計	5	5	0	0	0
金属くず	金属くず	1.50	1.50			
	パソコン	0.30	0.30			
	乾電池	0.04	0.04			
	小計	1.84	1.84	0.00	0.00	0.00
	合計	910	869	7	0	0